



平成23年9月21日(水)
No.26
江戸川区立第六葛西小学校
校長 伊藤辰久

江戸川区西葛西4-5-1 電話(3688)0485・Fax(3688)0510
メールアドレス: kasai6s@EDOGAWAKU.ed.jp

水泳指導が終了しました

どんどん上達しました

今年の水泳指導も9日で終了しました。7日には「プール納め集会」が開かれました。児童代表の佐々木君だけでなく、5年生のほとんどが毎日のようにプールに参加し、「水泳大会」では、ベストタイムを実現し、10秒以上も短縮した子供もいました。5年生以外の子供たちもほとんど全員が「校内水泳の級」を更新しました。「努力こそ宝」です。

努力は必ず報われる

プール納めの会児童代表 佐々木 郁弥君(5年)

僕たち5年生は、9月1日に西葛西小学校で行われた水泳大会に向けてプール開きから授業や夏休みの水泳教室で、たくさんの先生方の指導を受けながら、一生懸命に練習をしてきました。

僕は、25m自由形に出場しました。何回練習してもなかなかタイムをのばすことができませんでした。しかし、アドバイスを聞いて、毎日のように練習していくうちにどんどん上達していきました。そして水泳大会では、27秒で泳ぐことができ、1学期のタイムと比べて1秒以上縮めることができました。このタイムは決して速いタイムではないけど、僕にとっては努力の結晶のようなタイムだと思います。

今年の水泳の授業や水泳大会を通して、「努力すれば必ず報われる」ということを学ぶことができました。これからできないことがあっても諦めずに、成功するまで努力し続けていきたいと思っています。

1年生から4年生までの皆さん、5年生の水泳大会を楽しみにしててください。きっとたくさんのことを学ぶことができると思います。もし泳げなくていやだなと思っている人も、諦めずに力いっぱいがんばってください。

6年生にとっては小学校生活最後のプールになりました。楽しかったですか。中学校でも楽しいプールになるといいですね。

今週でプール納めになりますが、プールの約束をしっかりと守って、最後まで事故のないように楽しいプールにしましょう。



佐々木 郁弥君(5年)

『安心・自信・自由』

大切な三つの権利

4年生がCAP(キャップ)ワークショップ

「防犯に関する安全」では、1学期に1・3年生がセコム「防犯教室」、6年生が「地域安全マップ」作成の取り組みを進め、防犯意識の向上に努めてきました。9月は子どもの安全安心の取り組みをPTAに応援していただき、14日(木)に4年生の全クラスで「CAPワークショップ」と、クラス委員会の呼びかけによる「おとなのワークショップ」が実施されました。

「ワークショップ」では、子供たちが遭いやすい暴力、「いじめ・誘拐・性暴力」を主に取り上げ、話し合いやロールプレイ(役割劇)を通して、何ができるか具体的な方法を体験学習しました。

安心・自信・自由の「三つの権利」は誰もが生まれながらに持っている権利です。暴力は、これを奪ってしまいます。「もし〜だったら、何ができるか」子供たち自身が考え行動でき、自分の安全は自分で守る資質を身につけさせることをねらいにしています。

CAPとは、『Child Assault Prevention』から略された名称で『エンパワメント』『人権意識』『コミュニティ』を柱にした子どもへの暴力防止・人権教育プログラムで、子どもたちが、いじめ、誘拐、性暴力などのあらゆる暴力から、自分を守る方法を学ぶ参加体験型のプログラムです。

CAPは、1978年にアメリカのオハイオ州ではじめて開発・実施され、その後アメリカ各地の学校や幼稚園で実施されてきました。日本には、1985年に伝わり、子どもたち自身が人権意識をしっかりと持ち、暴力から自分を守るための知識や技能を持つことを願って実施されてきています。

また、5年生の「防犯教室」を10月に、12月には、2年生の「防犯教室」と不審者が校内に侵入した場合を想定した児童対象の避難訓練を葛西警察署の協力を得て実施することになっています。

『安全』に対する意識は繰り返し繰り返し強調することで育まれると考えています。ご家庭でも折にふれて話題にして子どもたちの意識向上を図ってください。



(こどもワークショップ)



(おとなワークショップ)

「読書月間」進行中、ご家庭でもご協力を

9月は「読書月間」です。朝読書、図書室や教室での読書、課題が終わったすき間の時間にも「すき間読書」、お母さん方の「読み聞かせ」など、読書活動が全校で進行しています。「読書貯金箱」もいっぱいたまってきました。ご家庭でも「親子読書」や「読書タイム」をつくってお子さんと読書を進めてください。



(先生からのおすすめ本のコーナー)

『たてわりなわとび・青空給食』に向け なわとび練習に挑戦中です

9月30日(金)は「たてわりなわとび・青空給食」です。その集会に向けて縦割り班毎に「なわとび」目標を決め、20分休みに校庭で「長なわとび」に挑戦中です。低学年は長縄をうまく跳べない子もいますが、高学年が親切に跳び方を支援してくれています。

「青空給食」は、縦割り班毎に校庭で調理師さんの特別仕立ての「お弁当給食」を食べます。良い天気であることを願っています。



2011/9/15

10/15

『あしぶえ』掲載作文紹介

江戸川区教育委員会発行児童作文集

学校のプール

六葛西 四年 飯田 桜子

(現在五年生)

わたしは、水泳が苦手です。三年生の時、やっとの思いで九級に合かくすることができました。今年、八級にちょうどです。今年こそは、もっと上手になりたいと思っていました。スポーツセンターで友達と練習をしたり、夏休みの水泳教室には、休まずに行ったりしてがんばりました。だけど、けん定の時は、あと少しというところで息が苦しくなって、立ってしまいました。立たないようがんばっても少ししか進まず、合かくすることができなくて、とてもくやしい思いをしていました。

夏休みの後半の水泳教室が始まりました。今年のけん定もあと数回となり、今年には合かくできないかもしれないと不安になりました。

八月最後のけん定の日、二十五メートルをクロールでなんとか泳ぎきることができました。泳ぎきれた時は、これまでがんばってきたので、とても気持ちよかったです。でも、先生が結果をいうまでの時間が長く感じ、とてもドキドキしていました。しばらくして、たんだの先生が

「がんばったね、合かくだよ。」

と言ってくれました。わたしは、うれしくて小声で、

「やった。」

と言った。先生から

「上手だね。」と言っていたいただきました。

その日は、合かくしたことを早く母に知らせたかったので、学校が終わるとすぐに走って家に帰りました。家に帰ってすぐ、母に、

「今日、水泳の八級、合かくしたよ。」

と言った。母は、

「おっ、すごいね。よくがんばっていたもんね。」

と言ってくれました。わたしは、とてもうれしくなって、横にいた弟に、つい自まんをしてしまいました。弟は、

「あっそ、よかったね。」

と言って、気にしていない様子でした。弟もがんばっている、あまり差がないので、追いこされないようにがんばらないといけないなと思いました。

来年は、七級にちょうど戦えます。今年も八級を合かくした後、一度だけよう戦いましたが、残念ながら合かくできませんでした。わたしは、もっともっとがんばって練習して、上手に泳げるようになります。そして来年は、七級を合かくするだけではなく、もっと上の級を目指して、がんばっていきなうと思います。